

# R3年度 筑紫区バレーボール大会 新型コロナウイルス感染症対策・熱中症対策について

## 1 参加に当たっての遵守事項及び事前の準備物について

(1) 各チームの顧問は、必ず各学校が定める校外指導計画書等を自校校長に事前に提出し、参加の許可を受ける。

(2) 健康状態の確認について

以下の3つの書類をもって確認する

①「参加同意書」提出先：各部員→各顧問 提出期限：大会当日まで

②「体調記録表」提出先：各部員→各顧問 提出期限：大会当日（大会前2週間分）

③「健康チェック表」提出先：各顧問→会場責任者→専門部長 提出期限：大会当日  
→①、②をもとに各顧問が③を作成し提出、③を専門部長が大会後2週間保管をする

(3) 無観客試合とする（保護者等の応援はできない）。

(4) 参加する生徒は、当日の朝、以下の症状がある場合は参加を控えること。「体調記録表」に記入を済ませ、確実に各顧問が検温や体調等の健康観察の確認を行い、異常が認められない生徒のみを参加させること。また、顧問や外部指導者についても、試合前2週間分の「体調記録表」を提出すること。

①体調がよくない場合。（例：発熱・席・咽頭痛などの症状がある場合）

②同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。

③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、及び地域への渡航歴、又は在住歴がある者との濃厚接触がある場合。

※各チームで消毒用のアルコールスプレーや除菌シート等の消毒剤を必ず持参し、こまめな消毒ができるように準備しておくこと。自チームの用具の消毒は、各チームで行えるよう消毒剤の準備しておくこと。チェンジコートの際や試合終了後は自チームのベンチの椅子を消毒してから移動すること。

※試合途中で、参加生徒が体調不良になった場合は、早退をさせることも考えられるので、保護者への緊急連絡表等を準備し、速やかに保護者に連絡がとれるようにしておくこと。

※審判が使用するホイッスルは、電子ホイッスルとする。各顧問は事前に準備し、当日必ず最低1個は持参すること。（筑前大会に準じる・審判の熱中症対策も考えて）

※フロアを拭く汗拭きタオルと消毒用に使うタオル（ぞうきん）は、必ず別のものを多めに準備すること。

## 2 当日の感染症対策について

(1) 練習中の対策について

①選手とボールを打って指導する指導者に限って、マスクを着用しなくてよい。ボールを打たない指導者はマスクを着用すること。

②練習中は衛生バッグをコートに持参し、マスクやタオルの収納ができるよう各自準備しておく。

③練習が終わり次第、マスクを着用すること。

(2) フロア等への入退場の対策について

練習や試合の入退場の際は、大会役員の指示に従って、密にならないように行う。入退場の際、各チームの指導者は必ず選手に同伴し、密を避ける対策や手洗い、消毒等の感染症対策を大会役員とともに指示し、選手の行動を管理すること。選手は必ずその指示に従うこと。

### 【春日会場】

控室（卓球場）の体育館側を出口、校舎側を入口とする。次に試合があるチームは、フロア入り口の混雑を避けるために、前の試合を終えたチームが控室に戻ってきたのと入れ替わりで控室を出る形をとる。試合を終えたチームは、次に試合があるチームが控室を出た後で、手洗い消毒を行う。

### 【那珂川北会場】

フロア入り口のグランド側を入口、校舎側を出口とする。

### 【学業院会場】

入り口が1つしかないので混雑しないように誘導係の指示に従って入退場する。

※ベンチ入りをしない部員については朝の練習、公式練習前もフロアに立ち入らない。試合の際にギャラリーから観戦するのみとする。なお、セット間の場所の移動はないものとし、観戦後は各チームで手すりなどの消毒を行うこと。

※会場校の状況により、人数の制限を行う場合もある。

※チームの状況が許すならば、試合時間に合わせて来場するなどできるだけ滞在時間を短くするなど工夫をしてください。

### (3) 試合中の対策について

- ①試合前などの円陣をしてのかけ声等は禁止する。
- ②ベンチでの集合時などもできるだけ密集・接触をさける。
- ③競技中のハイタッチはせず、腕のタッチにとどめる。
- ④ネット際等で、相手に顔や体を向けた状態での発声は控える。
- ⑤タオル・水筒・アイシングバック等の共用は禁止する。特にタオルやマスクをチームでまとめて集める際は、各自専用のタオルやマスク等の私物を入れる衛生バッグを準備、保管し、飛沫拡散防止対策をとる。
- ⑥給水については、練習中や練習後、試合中のタイムアウト時、セット間、試合間等で、こまめに行い、体調管理に努めること。
- ⑦水分補給用の飲料については、選手・指導者ともに各自で準備を行い、チームでの共有は厳禁とする。クーラーボックスの仕様も厳禁とする。
- ⑧試合開始前、試合終了後のあいさつ、及びサーブ権を決める際のキャプテン同士のコイントスの際は、握手はせず、一礼をすることで代用する。
- ⑨会場のカーテンについては、直射日光が入ってくる側のカーテンのみを閉めて、反対側は必ず開けて、換気ができるようにする。なお、カーテンの開け閉めについては、専門部（会場責任者）からの指示で行うものとする。勝手に開け閉めをしない。
- ⑩競技中（練習も含む）、靴底を手でさわらない。

### (4) ベンチでの対策について

- ①ベンチにいる生徒・指導者は試合中必ずマスクを着用する。選手交代をする可能性があるため、コート上の6人も含め、全員マスク及びタオル入れる衛生バッグを準備し、いつでも取り出せるように準備しておく。
- ②マネージャーとコート外の6人は、基本的にベンチに座る。ベンチの間隔を1mとってイスを配置する。
- ③ウォームアップゾーン付近が密にならないように、交代前の必要な選手が必要な時間帯のみ使用する。ウォームアップエリア内での私語はしない。
- ④飛沫の飛散を防ぐために、ベンチからの応援は、拍手のみとする。声は出さない。ハイタッチなど身体接触もしないようにする。
- ⑤タイムアウト時やセット間、試合間のベンチ前でのミーティングは、密にならないように間隔をとる。

### (5) 試合中及びセット終了後、試合終了後の消毒上の対策について

- ①各試合終了後は、必ず以下のものをアルコールスプレー又は除菌シート等で消毒を行う。
  - ㊦審判台の手の触れる部分
  - ㊧ラインジャッジフラッグの手の触れる部分
  - ㊨得点版及びイスの手の触れる部分
- ②各セット終了後、及び第3セットの13点目でのチェンジコートの際、及び試合終了後には、必ず自チームが使用したベンチにあるイスを消毒してから移動すること。
- ③試合球は各コート指定した2球を試合球として専門部が準備する。そのボール以外は使わないようにする。セット間、試合終了後に消毒を行う。
- ④審判の際に使用するホイッスルについては電子ホイッスルに限る。試合終了後は必ず消毒を行う。